

よこすか

Yokosuka
PTA

編集・発行
横須賀市PTA協議会

よこすかスマイル
PTA

スマホ・SNS ポスターコンテスト 結果発表



小学校1～3年の部 最優秀賞

大塚台小学校 3年 松永 夏芽さん



小学校4～6年の部 最優秀賞

久里浜小学校 4年 井上 日菜乃さん



中学校の部 最優秀賞

野比中学校 1年 柳町 幸穂さん



カラー版および
その他入賞作品は、
市P協HPでご覧ください。

横須賀市PTA協議会

〒238-0006 横須賀市日の出町3-19-16 横須賀三浦教育会館5F

TEL: 046-824-1478 FAX: 046-824-1480

Email: office@pta-yokosuka.jp

市P協
ホームページは
こちらから



スマホ・SNS コンテスト最優秀賞の作品は、
スマホ・SNS 川柳コンテスト募集ポスター
として各校に貼っていただいていますので、
学校に行かれた際には探してみてください。

溢れ出すこの気持ち、恥ずかしさなの？ 怒りなの？

前回の「子どもたちが危ない！感情リテラシーの欠如とは？」が話題になりましたので、引き続きお伝えします。最近の子どもたちのコミュニケーションの多くはLINEなどのSNSを通じて行われており、そのやり取りは恐ろしく短文です。嬉しいことも悲しいことも全て「やば」「だる」「うざ」などで片付けてしまいますので、自分の「この感情が何の感情なのか」が分からなくなっている、と言われていいます。これが感情リテラシーの欠如です。例えば友人に突然聞きなじみのないあだ名で呼ばれて、溢れ出してくる感情が恥ずかしさなのか怒りなのか驚きなのか分からない。だから手が出る、不登校になる。また、闇バイトリクルーターがこうした若年層の感情リテラシーの欠如を利用しているケースもあると言います。話を聞き「それは辛かったね」とか「嬉しい驚きだね」など感情の位置を示してあげて「この人は自分の事をとてもよく分かってくれる」と信頼させて闇バイトに引きずり込む、というものです。

では、感情リテラシーを育むにはどうしたらよいのでしょうか。それには、親子の言葉のコミュニケーションで子どものその感情が何なのかを感じ取って、示してあげる事が大切です。そしてもう一つ、読書の力に注目が集まっています。登場人物の感情に共感することによって自分自身の感情も理解することができるようになります。さらに、読書によって生まれるリラクセス効果やストレスの軽減、想像力や表現力の向上も、感情リテラシーを育ててくれます。また、感情を表現するには語彙力が必要不可欠ですが、読書によって語彙力を身につけることもできます。

子どもたちの感情リテラシーの欠如は、スマホによりライフスタイルが変化し、親子のコミュニケーションの時間や読書の時間が失われてしまっていることが原因なのかもしれません。ぜひ親子のコミュニケーションと読書の時間を意識して、感情リテラシーを育てていきましょう。(顧問 櫻井 聡)

報告

本が読みたくなる魔法のかけかたとは？ ■読書推進講演会

「本はワクワクドキドキな魔法がいっぱい」～絵本から読み物へ 移行期におすすめの本の紹介～

- 日時：10月3日(金) 10:00～12:30 ● 場所：生涯学習センター(まなびかん)第1学習室 参加者：52名
- 講師：うみべのえほんやツバメ号店主 伊東ひろみさん

「幼い時は絵本を読んであげていたけれど、大きくなったら子ども任せで良いの?」「どうしたら、もっと本を読みますか?」—私たち大人は、読書の素晴らしさを伝えるために、何ができるでしょうか?

横須賀市唯一の絵本専門店の店主であり、読み聞かせボランティア活動経験も豊富な伊東さんは、「大人のちょっとしたサポートで子どもは本の魔法にかかります」とおっしゃいます。①子どもの興味を軸に大人が本を勧めてあげる。②一人読みができる子にもあたたかい声で読み聞かせをする。③親子で楽しく交互に音読する。④絵が多く字が大きい本でもいいから一冊読み切る達成感を味わい、読み通したらたくさん褒める。⑤同じ本を読んで感想を伝えあう。そうやって親子で楽しい時間を共有することが、読書する力やかけがえのない思い出につながるのだと教えてくださいました。

そして絵本から読み物へ移行する際のおすすめの本を何十冊もご紹介いただきました。どれも素敵な本ばかりで、なかでも「ハラハラドキドキの冒険」と、「冒険から元の世界に戻ってくる安心感」を味わえる本がこの時期の子どもには有効だと学びました。うちの子にも本の魔法をかけたい!そんな気持ちになる有意義な講演会でした。



■『本がきらい 本がすき』を実演する伊東さん



■講演会後の座談会も盛り上がりしました

子どもの健やかな体作りのために家庭の食事を見直そう! ■家庭教育講演会「食育講座」

『給食から学ぶ子どもたちの食育』市P協&市教育委員会主催

食育 バランスガイド



9月5日～11月11日まで、計6回の食育講座が、横須賀市学校給食センターで開催され、約85人の保護者の参加がありました。1年で約1095回の食事のうち、学校給食は163回～190回と、おおよそ1/6しかありません。学校給食を食べていれば子どもの食事は大丈夫ではなく、家庭での食事が重要です。食育講座に参加して、心と体を育むための食事を学び、子どもたちの健やかな体作りについて考えていきましょう。来年度も開催しますので、ぜひご参加ください。



■講習会



■配膳の様子

市P協 第3回スマホ・SNS川柳コンテスト 募集

- 応募資格：横須賀市内小・中・特別支援学校の全児童・生徒、横須賀市PTA協議会所属の単位PTAのPTA会員(保護者・教職員)
- テーマ：スマホ、インターネット、ゲーム、SNSなどの題材なら何でも。
- 締め切り：R7年12月19日(金)18時まで
- 部門：小学校の部、中学校の部、一般の部
- 賞と賞品：最優秀賞1名(1000円図書カード)、優秀賞2名・委員長特別賞1名(小・中のみ500円図書カード)



詳細(市P協HP)

■2026年4月から自転車の交通違反に反則金 ■ながらスマホは反則金12,000円

16歳以上で、信号無視、傘差し、2人乗りなど113の交通違反で反則金の対象になります。16歳未満の子どもが違反した場合は、反則金の対象にはならないものの、警察官による指導や警告が行われます。さらに、悪質な違反を繰り返す場合、保護者への安全教育の勧告や、自転車運転者講習の受講命令の対象となる可能性があることは知っておきましょう。交通ルールを再確認し、安全な自転車利用を心掛けるように、保護者の皆様はお子様にご指導ください。

